

新発売

**耐久性と静音性に優れた
溝型静音ローラー搭載モデルが新発売！
ハイブリッドテスター**

ABS-212

- 独自ローラー採用！制動力・耐久性はそのまま、スピード測定時の金属摩擦音を低減。
- 一般的に耳障りとされる800Hz～2.5kHzの騒音レベルを低減し、キーンという不快な高音を抑えます。



新発売

**立ち姿勢のまま、安全・快適・スピーディーに
ホイールを脱着。車検整備の効率アップをサポート！
ハイリフトホイルドーリー**

HL-300J

- 作業者の背丈に応じた理想的な作業高さまでフォークがスピーディーに上昇！
- 多数のホイルドーリーは不要で、1ストール2台から車検整備に対応できます。
- ツインリフトをハイリフトアップした状態をキープできるので、オイル交換や下回り点検の併行作業も可能です。



近日発売

**フロンガスの回収・再生・真空・計量充填・
オイルフラッシングや、PAG・POEオイル交換が
この1台で！**

PAG/POEオイル対応 A/Cガスチェンジャー

PS134

- HV・EVの電動コンプレッサーに使われるPOEオイルと、一般車両のベルト駆動コンプレッサーに使われるPAGオイルが混在しないホースクリーニング機能を搭載！
- オイル毎の機器の使い分けが不要で、省スペースを実現します。

業界初！

PAG POE



保守点検のおすすめ

ANZEN製品を長くご活用いただくため、保守点検サービス（有料）のご利用をおすすめします。
お近くの営業マンまでお問い合わせください。

24時間サービス体制

ANZEN製品を「安心」してご利用いただくために、24時間サービス（ボイスワープ）対応をいたしております。営業時間外、および休日におけるサービス電話受付ができます。担当の営業所の電話に連絡していただければできる限り迅速な対応をいたします。

ANZENカスタマーサービス

0120-01-6361 当社の製品およびサービス、その他に関するお問い合わせは左記のフリーダイヤルまでお気軽にどうぞ。
受付時間：月～金（AM9:00～PM5:00）

ANZENホームページ

<http://www.anzen.co.jp> ホームページ“ANZEN Web”ではANZENの最新情報を提供しています。



自動車整備の最新がわかる
ANZEN NEWS

95
ANZEN
SINCE 1918
交通報國95年
これからもお客様とともに

SAFETY **ANZEN**

CHARGE

7月
開催！

『第33回 オートサービスショー 2013』

お客様のご来場を心よりお待ちしております！

最新の整備機器が一堂に集まる機械工具の祭典「第33回オートサービスショー 2013」が、7月5日(金)～7月7日(日)の3日間、東京ビッグサイトで開催されます。今回のテーマは「進化するあなたのくるまと整備機器」です。

当社といたしましても、「クルマ・市場・整備」の変化に合わせて進化した技術やノウハウの数々を見ていただけるよう、商品の出展に力を入れて参ります。

また当社は今年で創立95周年を迎えるにあたり、お客様と共に歩み続けた歴史の中で、新たな価値をご提案できるよう、より一層尽力して参ります。皆様と会場でお会いできることを社員一同心よりお待ちしております。

「第33回 オートサービスショー 2013」開催概要

テー マ 「進化するあなたのくるまと整備機器」

会 期 2013年7月5日(金)～7月7日(日)《3日間》

会 場 東京国際展示場(東京ビッグサイト) 東5.6ホール及び屋外

ホームページ <http://www.jasea.org/a.s.show/>



車検機器



省スペース・効率化を実現するBSテストターや、画像処理方式ヘッドライトテスターなど、一步先を行く最新機器をご紹介！

大型車用整備機器



進化したツインパワーリフト・フロアリフトと周辺機器を効果的に組み合わせ、大型車整備の可能性を更に広げます！

小型車用整備機器



業界注目のエコカー整備ツールから最新工場づくりのトレンドまで、整備工場の効率化をお手伝いします。

足回り機器



作業者とタイヤへの負担を軽減するバトラーをラインナップ。最新機器の魅力と性能をデモを交えてお伝えします。

洗浄機器



洗浄力は勿論、環境にも配慮したエコ洗浄機をご提案。オリジナル下部洗を組み合わせた節水型門型洗車機など、画期的な洗浄装置もご用意！

サービスメニュー



整備機器を“より安全に、長く安心して”ご愛用いただくため、整備機器のメンテナンスマニュアルをご提案いたします。

ファーレン栃木南株式会社 フォルクスワーゲン館林

群馬県館林市松原3-14-9
TEL 0276-59-2111

いま注目!
のショップ訪問

今回訪問したのは昨年11月1日に新設オープンしたフォルクスワーゲン館林。フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社の正規ディーラーであるファーレン栃木南株式会社では、2店舗目となるフォルクスワーゲン専売店です。同店は、フォルクスワーゲンがドイツをはじめ全世界で展開しているコーポレートデザイン「モジュラーコンセプト」に基づいて設計されており、重要なデザイン要素であるホワイトフレームを配した店舗は、フォルクスワーゲンの存在感をより際立たせています。そんな同店のスタッフは、店長、営業スタッフ2名、整備スタッフ2名、受付スタッフ2名の計7名。既設店舗へのサポート態勢を備え、かつ地域の愛着ユーザーの獲得に力を入れていく同店の取り組みについて、お話を伺いました。



来店そのものに価値を。洗練された魅力満載のサービスワークショップ

既存の足利店との連携を深め、お客様により良いサービスをご提供

フォルクスワーゲンが展開する「ハブ＆スポーク戦略」に呼応した形で、スポークの位置付けとなるフォルクスワーゲン館林は、ハブ拠点である既設の足利店と共に、群馬・栃木両県をまたぐ両毛地区を効率的にカバーしていくことを目的に立ち上げられました。

ディーラーネットワークを充実させ、2店舗体制を展開していくことのメリットについて、井川店長にお話を伺いました。

「当店がオープンし、館林周辺にお住まいの足利店のお客様からは利便性が良くなつて助かったという声を頂戴しています。店舗の移管意向も、こちらからオープンのアナウンスをさせていただく際に、お客様のご希望をお伺いさせていただきました。整備に関しては、足利店は特に土・日は大変混雑しますので、突発的な修理で対応しきれないケースなどは館林店で整備を受け入れ、臨機応変に対応しています」と、2店舗が連携を取ることで、お客様へのよりきめ細やかな対応が可能になり、双方のサービス品質が相乗的に向上しているとのことです。

新店舗の周知活動は訪問活動に力を

お客様の中には、「この店舗ができるまで足を運んだ」という新規のお客様も多く、「潜在需要があることを実感している」と語る井川店長。新店舗に足を運んでいただくための具体的な入庫促進策については、訪問活動を基本とし、地道に確実に歩を進めていくことに注力していく方針です。

ブランド価値が伝わる清潔感あふれるサービスワークショップ

コーポレートデザインのモジュラーコンセプトは、サービスピットにももちろん反映されています。



「清潔感を感じてもらいたい」という井川店長の言葉からも伝わってくるように、白を基調としたサービスピットは、天窓から採光が差し込み、明るく開放的な印象を与えます。そんなサービスピットにはフォルクスワーゲン



リモコン1つで全操作ができる
“ラインマスター”は効率化に寄与

専用のテスターをはじめ、新鋭機器が完備されています。車検ラインには検査結果をモニター表示できるトータル車検システム“ラインマスター”をはじめ、静音性に優れたサイレントローラー搭載の“ハイブリッドテスター”を設置しています。



主に重量車に活用している
“アルネオリフト”

リフトはフラット&フラットが魅力の“アルネオリフト”が3基と、リンク式の“ファンタスリフト”を採用しました。機器の使い勝手について、アフターセールスマネージャーの小久保さんは「“ラインマスター”はリモコン1つで全操作ができるので、使いやすいですね。1人で作業できる点は効率化につながっていると思います。また“ハイブリッドテスター”的スピード測定時のローラー音は静かでいいですね」と語ってくださいました。

作業者とタイヤへのやさしさが魅力のバトラー“クラシックプラスFI AXスペシャル”的使い勝手については「アームが固定されていないので使いやすく、ホイールの設置時に多少斜めになってしまってアームが追尾してくれるのが良いですね。力を入れやすく、身体に負担のかからない姿勢でラクにタイヤ交換ができます」(小久保さん)と、高評価をいただきました。



人間工学に基づいて設計されたバトラー
タイヤチェンジャーは作業時の負担を軽減

整備にご満足いただけでなく、ご来店そのものがお客様にとって価値を感じていただけるものであつて欲しいという想いが随所から伝わってくるフォルクスワーゲン館林。

「独自のサービスを展開していくのはまさにこれから」と、意気込みも新たな同店の、今後のさらなる飛躍に期待が高まります。

株式会社トランスサーブ

埼玉県越谷市宮本町1-91-1
TEL 048-964-6578

知りたい!
元気な工場の秘密

今回訪問したのは、今年1月22日に新設された株式会社トランスサーブ(以下トランスサーブ)。食品関係の運送を担う株式会社曙運輸(以下曙運輸)の自社整備工場として独立し、関連整備を一挙に引き受けています。整備工場のコンセプトは、「社員の幸せを第一に考えた、働きやすい環境作り」と大野会長。実際に、これまで外注していた車検と整備がトランスサーブに集約されたことで、自社ドライバーにとって多くのメリットが生まれました。社員は工場長を筆頭にメカニック関係が4名、営業などのスタッフが4名の8名体制で運営しています。1年後の指定取得を目指し、社員一丸となって準備を進めている同社の今後の展望についてお話を伺いました。



取締役会長
大野 祐肇 様

ゼロベースから立ち上げた、充実設備と高い専門性でグループの安全を支える新設工場

通常整備から専門性の要するメンテナンスまで一手に引き受け

ロッテ浦和工場のアイスクリームの運送事業が原点で、大型冷凍車は欠かせない存在である曙運輸。現在も運ぶ商品はロッテ製品を含む冷凍食品が多いことに特徴があります。そのため曙運輸の整備を担うトランスサーブも、通常の車体整備は勿論、冷凍機のメンテナンスも得意とするところが強みです。

これまで外注していた整備が、自社整備工場で可能になったことで、ドライバーの拘束時間と外部委託分のコストが削減されました。他にも共同仕入れによって、低価格でタイヤやオイルを関係各社に供給するなど、グループ全体の業務効率向上に貢献しています。

「事故を起こさない・できるだけ整備費がかからないようする・効率的な配車。この3つがポイントです。適正な労働時間をクリアしながら車両点検の回転率を上げるにはどのようにすべきかが今後の課題になるでしょう」と語る大野会長。



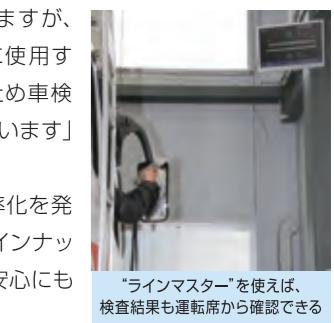
冷凍機のメンテナンスも
同工場内で対応

そのための施策の1つとして、長期運転で無理が生じるのを防ぐために、ドライバーの仮眠施設と事務所を兼ねた社員寮を施設内に建設予定です。「社員が幸せになることが一番」と語る大野会長の想いが伝わってきました。



床面フラットな“ツインパワーリフト”で
安全・安心作業

ディーラーでの整備に携わっていた経験がありますが、導入された機器はその時に使用していたものとほとんど変わらず、スタート時点から十分な機器が工場内に揃っていたことはありがたく思っています」と語っています。各機器についても、「乗降に手間のかかる大型車も、“ラインマスター”によって運転席からモニター画面を見ながら検査結果を確認でき、時間短縮につながりました。“画像処理方式手動ヘッドライトテスター”も信頼の精度を発揮しています」「“ツインパワーリフト”はアタッチメントにズレ止めがついていて、安全性がより高く、安心して車両のリフトアップができます。車検整備や3ヶ月点検に使っていますが何といっても床がフラットになるのが便利。”テストリフト”は主に一般修理、3ヶ月点検、クラッチのオーバーホール作業に使っていますが、“トラックサイドリフト”と一緒に使用すれば前後をリフトアップできるため車検整備でもテストリフトは活用しています」と評価をいただきました。



“ラインマスター”を使えば、
検査結果も運転席から確認できる

限られたスペースで最大限の効率化を発揮することを目指し、充実したラインナップを揃えていることがお客様の安心にもつながると言えるでしょう。

通常整備と冷凍機、両方のメンテナンスができる強み、充実した最新設備、そして社員を思い大切にする体制のもと、現在、指定工場を目指しているトランスサーブ。指定取得後は社外の潜在需要に向けて

入庫誘引活動を展開し、近隣の車両を積極的に受け入れ、地域密着で幅広いサービス展開を目指していく方針です。

1月オープンで9月までは助走段階といえるでしょう。指定工場となつてからのますますの活躍に期待が高まります。



“ヘッドライトテスター”で
スピーディーかつ正確な測定を実現